

2022年度事業報告

1. 研究発表会・セミナー・公開講演会等の開催

(1) 研究発表会

1) 本部: 第74回大会

5月27～29日、九州支部*1、演題登録は口頭発表102題、ポスター発表88題で、参加者は722名であった。

*1: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とした。

2) 支部: 研究発表会、卒業論文・修士論文発表会等を開催

東北・北海道支部	9月17日*1
関東支部	2月15日*1
中部支部	9月17日、2月19日
関西支部	11月5日
中国・四国支部	10月2日*1

*1: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とした。

3) 部会: 研究発表会を開催

家政学原論部会	8月21・22日*1
生活経営学部会	8月26日*1
家族関係学部会	10月29・30日*2
食文化研究部会*3	4月9日、6月11日、7月9日、 9月10日、11月6日(研究大会)、 12月10日、2月11日、3月11日*3
服飾史・服飾美学部会	12月11日*2

*1: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とした。

*2: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン方式を併用して開催した。

*3: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、月例会・研究大会も含めてすべてオンライン開催とした。

(2) セミナー

1) 本部: 第6回家政学夏季セミナー

9月19日～21日に開催予定であったが、島根県の新規陽性者数が、過去最多水準が続いているという状況により、来年度への延期となった。

2) 部会:

家政学原論部会	8月21・22日*1
食文化研究部会	(8月の夏期特別研究会を中止)
被服材料学部会	9月1・2日
被服構成学部会	8月22日
被服衛生学部会	8月22/23日*1
被服心理学部会	8月23日*1、2月27日*1
色彩・意匠学部会	8月29日*1
家政教育部会	8月28日*1、3月21日*1
被服整理学部会	8月29日*1

*1: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とした。

3) 若手の会: 若手の会競争的活動に向けた学術交流セミナー(3月14日)を開催した。

(3) 公開講演会・シンポジウム等

1) 本部: 第74回大会時に開催(5月28・29日)*1

シンポジウム、教育講演、家庭生活アドバイザー認定証交付式・活動報告会、東日本大震災生活研究プロジェクト最終活動報告会、国際交流委員会セミナー、若手の会交流会、スポンサーズセミナー

*1: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とした。

2) 支部: 公開講演会を開催

東北・北海道支部	9月17日*1
関東支部	4月23日*1、9月10日*1、
中部支部	9月17日
関西支部	5月14日*1
中国・四国支部	10月1日*1

*1: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とした。

3)部会:公開講演会を開催

生活経営学部会	8月26日*1
家族関係学部会	10月29日*2
児童学部会	1月29日*1 (公開シンポジウム)
被服構成学部会	2月18日*1
被服衛生学部会	2月18日*1
色彩・意匠学部会	3月4日*1
服飾史・服飾美学部会	12月11日*2

*1:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とした。
*2:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン方式を併用して開催した。

大会企画を開催

家政学原論部会	5月28日*1
被服整理学部会	5月29日*1
服飾史・服飾美学部会	5月29日*1
食品組織部会	5月28日*1

*1:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とした。

2. 学会誌・その他の図書の刊行

(1)本部

1)学会誌:「日本家政学会誌」73巻4号～12号及び74巻1号～3号(12回)を各2,500部発行し、J-STAGEで公開した。

【掲載された論文の種類・部門別編数内訳及び総ページ数】

種別	巻号	第73巻										第74巻			掲載された論文数合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
種別	報文	3	2	3	2	3	2	0	1	2	3	1	1	23	
	ノート	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	2	8	
	資料	0	2	1	2	0	1	2	2	2	1	2	1	16	
部門別編数	原論・経営		1			1		1						3	
	児童・家族		1	1			1		2		1		1	7	
	食物	2	3	1	2		1	2	1	1	1	3		17	
	被服	2		1		1			1	2			1	8	
	住居			2		1				1	2	1	1	8	
	教育・その他				2		1						1	4	
	合計	4	5	5	4	3	3	3	4	4	4	4	4	47	
	ページ数	31	44	67	51	29	30	24	39	44	50	38	43	490	

【投稿された論文の部門別内訳】

▲減少 (編)

部門	原論・経営	児童・家族	食物	被服	住居	教育	その他	合計
2021年度	5	13	32	10	3	7	0	70
2022年度	5	12	16	10	8	3	0	54
増減	0	▲ 1	▲ 16	0	5	▲ 4	0	▲ 16

【審査が終了した論文の内訳】

(編)

内訳	掲載済	印刷中	著者取り下げ	却下	合計
2022年度	33	10	9	13	65

【2022年度倫理審査実施論文の部門別内訳】

部門	原論・経営	児童・家族	食物	被服	住居	教育	その他	合計
倫理審査	1	3	3	1	0	1	0	9
審査伺い	0	1	0	0	1	0	0	2
証明書確認	0	1	2	4	1	0	0	8
合計	1	5	5	5	2	1	0	19

倫理審査:審査を実施した論文

審査伺い:倫理審査不要、前回投稿時の倫理審査を引き継いでよい、と判断された論文

証明書確認:所属先倫理承認証明書と論文記載内容の確認 2022年10月以降実施

参考:2021年度 倫理審査11件、審査伺い7件 計18件

2)第74回大会研究発表要旨集を900部発行し、J-STAGEで公開した。

(2)支部:以下の要旨集等を刊行した。(データ送信含む。)

東北・北海道支部	「2022(令和4)年度研究発表会要旨集」
関東支部	「第25回家政学関連卒業論文・修士論文発表会要旨集」
中部支部	「第66回(2022度)大会要旨集」 「第23回家政学関連専修生・学生研究発表会要旨集」
関西支部	「2022(令和4)年度研究発表会要旨集」
中国・四国支部	「2022(令和4)年度研究発表会要旨集」
九州支部	「2021年度(第66回)研究発表要旨集」

(3)部会:以下の部会誌・研究誌、セミナー要旨集等を刊行した。

家政学原論部会	「家政学原論研究」(No.56;J-STAGE上に公開) 「2022年家政学原論部会夏期セミナー発表要旨集」
生活経営学部会	「生活経営学研究」 「生活経営学部会夏期セミナー報告要旨集」
家族関係学部会	「家族関係学」(機関誌発行とJ-STAGE公開) 「家族関係学セミナー 公開シンポジウム・自由報告要旨集」 「家族関係学部会ニュースレター」 「家族関係学部会メールマガジン」
児童学部会	「児童学研究」
食品組織部会	「食品組織部会会報」
食文化研究部会	「会誌食文化研究」
被服材料学部会	「被服材料学部会部会報」 「被服材料学部会夏季セミナー要旨集」(PDF版)
被服構成学部会	「被服構成学部会誌」 「被服構成学部会夏期セミナー要旨集」(PDF版) 「被服構成学部会研究例会要旨集」(PDF版)
被服衛生学部会	「被服衛生学」 「被服衛生学セミナー要旨集」 「被服衛生学部会公開講座要旨集」
被服心理学部会	「被服心理学部会夏季セミナー要旨集」 「被服心理学部会春季セミナー要旨集」
色彩・意匠学部会	「色彩・意匠学部会会報」 「色彩・意匠学部会夏季セミナー 公開講演会要旨集」 「色彩・意匠学部会春季セミナー 公開講演会要旨集」
服飾史・服飾美学部会	「服飾史・服飾美学部会報」
家政教育部会	「家政教育部会ニュースレター」
被服整理学部会	「被服整理学部会夏季セミナー要旨集」

3. 研究及び調査の実施

(1)支部:関東支部若手の会で勉強会を実施した。

中部支部若手の会でIFHE2022にて「日本家政学会における若手の会の歴史とその活動の特徴」をポスター発表した。

中部支部若手の会で勉強会「尾張繊維技術センター及び木玉毛織の見学」を実施した。

(2)部会:研究会、調査等を実施した。

家政学原論部会	食文化研究部会	被服構成学部会
色彩・意匠学部会	服飾史・服飾美学部会	家政教育部会

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰

(1)本部:

1)2022年度日本家政学会賞として以下の通り表彰した。

学会賞:小西史子氏

奨励賞:伊藤優氏

功労賞:今岡春樹氏、峯木真知子氏

2)活動助成として以下の支部、部会に助成を行った。

支部:関東支部

部会:家政学原論部会、生活経営学部会、家族関係学部会、児童学部会、被服材料学部会、

被服整理学部会、被服衛生学部会、被服心理学部会、色彩・意匠学部会

3)支部活動活性化サポートとして以下の支部に助成を行った。
中部支部、中国・四国支部

4)第74回大会活性化提案企画として以下の部会に助成を行った。
部会:家政学原論部会、食品組織部会、被服整理学部会、服飾史・服飾美学部会

(2)支部:

1)東北・北海道支部:

- ①2022年度若手会員および学生研究者への研究助成において審査の結果1件の研究に対して研究助成を行った。
- ②2022年度研究発表において優れた学生発表3件に対して表彰を行った。

2)関東支部:

- ①家政学関連院生・学生研究の発表者に発表奨励賞を授与した。

3)中部支部:

- ①若手の会の活動に奨励金を支給した。
- ②中部支部大会の研究発表会発表者2名に中部支部大会発表奨励賞を授与した。
- ③家政学関連院生・学生研究発表会発表者3名に中部支部院生・学生発表奨励賞を授与した。

4)関西支部:

- ①2022年度支部研究発表において研究発表会発表者3名に若手優秀発表賞を授与した。

5)中国・四国支部:

- ①若手研究者2名に中国・四国支部賞を授与した。

6)九州支部:

- ①若手研究者1名に九州支部賞を授与した。

(3)部会:

- 1)家政学原論部会:各地区会に研究活動費を補助した。
- 2)生活経営学部会:各地区会および若手の会に研究活動費を補助した。
- 3)食文化研究部会:石川松太郎食文化研究奨励賞を1名に授与した。

(4)若手の会:

- 1)競争的活動に向けた学術交流セミナーにおいて、感謝状を3名に授与した。

5. 家庭生活アドバイザー資格認定事業

- 1)資格取得のための第6期研修会と資格試験を、オンライン形式で実施した。
- 2)資格保持者のための資格更新研修と活動報告会を、オンライン形式で実施した。
- 3)今後の資格のあり方について継続して検討した。

6. 内外の関連学協会等との連携及び協力

(1)本部:

- 1)国際交流委員会:国際家政学会(IFHE)・アジア地区家政学会(ARAHE)の組織や大会に関する広報、IFHE・ARAHEとの連携活動、国際交流委員会HPの更新、メルマガへの情報発信などの活動を行った。
- 2)関連学会との交流:日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分科会及び関連学会と連携して、生活科学系コンソーシアムへの活動を推進した。
- 3)学協会関係:生活科学系コンソーシアムのメンバーとして、(一社)日本調理科学会、(一社)日本繊維製品消費科学会、日本家庭科教育学会他、関連学協会との事業の共催、情報の交換等を行った。
- 4)公益信託家政学研究助成基金:総数2名(うち学会員1名)に対し研究助成された。
- 5)生活やものづくりの学びネットワーク:関連学協会と連携して生活やものづくりの学びネットワーク公開フォーラム(9月25日)、春の学習交流会(3月25日)をZOOMにて開催し、年に2回の会報「生活やものづくりの学びネットニュース」(第23号、24号)を刊行した。

(2)部会:

- 1)家族関係学セミナー公開シンポジウムで韓国家族関係学会(KAFR)からシンポジストをお招きし(オンライン、オンデマンド参

- 加)、国際学術交流を行った。
- 第22回全国中学校創造ものづくり教育フェアに協賛し「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール(1月28日)の審査委員を被服構成学部会より派遣した。
 - 住居学部会として、第9回 気候変動・省エネルギー行動会議(BECC Japan)への参加の招待を受け、5名が参加した。

7. その他の目的を達成するために必要な事業

(1)総務委員会:

- 一般社団法人日本家政学会役員選出規程、財務委員会規程、家庭生活アドバイザー資格認定委員会規程、就業規則の改正を行うとともに、論文投稿規程及び執筆要領の改正を規程等集に収載するなどの見直しを行った。日本家政学会のSDGsポジション・ステートメント特別委員会を立ち上げた。
- オンラインによる会議・業務が円滑に遂行できるよう環境整備に努めた。
- オンライン会議用にZoom ミーティングのライセンスを引継ぎ、委員会・部会等が利用する場合の受け付け、ID発行等の業務を行った。

(2)財務委員会:

- 財務関係書類の点検を行い、課題を検討した。
- インボイス制度について、公認会計士事務所との情報交換を行い、財務処理の課題事項に関する確認と情報を得た。

(3)情報管理委員会:

- 支部・部会・若手の会のイベント情報が目につきやすいように、ホームページの修正を行った。
- ホームページは毎月2回更新した。
- メールマガジンを78回配信した。

(4)編集委員会:

- 倫理審査の観点から、投稿規程、内規、執筆要項の改正を行った。
- ダブルブラインド方式の観点から、投稿規程、執筆要項の改正を行った。
- その他、引用文献の表記の方法などの見直しを実施し、必要に応じて改正を行った。

(5)日本家政学会のSDGsポジション・ステートメント特別委員会:

- 2022年12月に家政学原論部会から提案された「日本の家政学のSDGsポジション・ステートメント案」を基に、「日本家政学会のSDGsポジション・ステートメント」の原案を作成した。
- 上記の原案について、学会員からの意見聴取(パブリック・コメント)を実施した。
- パブリック・コメントを受け、「日本家政学会のSDGポジション・ステートメント」の成案を検討した。

8. 本部、支部及び部会の総会等の開催

(1)総会

- 本部:2022年度代議員総会、5月29日、オンライン開催 出席者63名(代議員43名、理事・監事20名)

2)支部:

通常総会	東北・北海道支部*1	関東支部*2	中部支部
	関西支部*3	中国・四国支部*4	九州支部*3

- *1:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面及びメール審議により開催した。
 *2:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面・オンライン併用で開催した。
 *3:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、web開催した。
 *4:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、web審議とした。

3)部会:

通常総会	家政学原論部会*1	生活経営学部会*1	家族関係学部会*2	児童学部会*1
	食品組織部会*3	食文化研究部会*1	被服材料学部会*3	被服整理学部会*1
	被服構成学部会*1	被服衛生学部会*1	被服心理学部会*3,*4	色彩・意匠学部会*4
	服飾史・服飾美学部会*4	家政教育部会*3	住居学部会*1	
臨時総会	被服衛生学部会*1	色彩・意匠学部会*1		

- *1:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、web開催した。
 *2:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン方式を併用して開催した。
 *3:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、メール審議とした。
 *4:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による開催とした。

4)若手の会:

ハイブリッド方式で幹事の役割、企画等を見直しや検討を行った。

(2)理事会、役員会等

1)本部:理事会4回(うちweb会議3回、ハイブリッド会議1回)、臨時理事会2回、会長副会長会7回(うちweb会議6回、対面会議1回)

2)支部:

東北・北海道支部	支部役員会3回(メール審議)
関東支部	支部役員会5回(3回はweb会議、1回は対面・web両用、1回はメール審議)
中部支部	支部役員会3回(1回はweb会議) 支部役員連絡会2回(1回はweb会議)
関西支部	支部役員会7回(うち3回はメール審議、2回はweb会議)
中国・四国支部	支部常任幹事会6回(書面会議5回、web会議1回)
九州支部	支部役員会5回(うち4回はメール審議、1回はweb会議)

3)部会:

家政学原論部会	常任委員会10回(web会議2回、メール審議8回)、 新旧役員会1回(web会議)
生活経営学部会	常任委員会7回(メール審議1回、web会議6回)、 部会役員会1回(web会議)
家族関係学部会	部会役員会2回
児童学部会	6回(web会議3回、メール会議3回)
食品組織部会	1回
食文化研究部会	10回(web会議)
被服材料学部会	部会幹事会2回(メール審議1回、対面1回)
被服整理学部会	2回(メール審議)
被服構成学部会	3回(web会議)
被服衛生学部会	3回(web会議)
被服心理学部会	2回(web会議)
色彩・意匠学部会	3回(web会議)
服飾史・服飾美学部会	部会役員会3回(web会議)
住居学部会	1回(web会議)
家政教育部会	4回(web会議)

4)若手の会: 幹事会2回(web会議、ハイブリッド会議)、大会企画3回(メール審議1回、web会議2回)

(3)各種委員会

1)本部:

財務委員会	2回(web会議、メール審議)
企画・広報委員会	1回(メール会議)
国際交流委員会	3回(web会議)、大会企画3回(web会議)
編集委員会	4回(web会議)
研究発表審査委員会	1回(web会議)
学会賞選考委員会	3回(web会議・ハイブリッド会議)
功労賞推薦委員会	2回(web会議・ハイブリッド会議)
家政学夏季セミナー実行委員会	8回(メール審議)
家庭生活アドバイザー資格認定委員会	6回(web会議、メール審議)
日本家政学会のSDGsポジション・ステートメント特別委員会	5回(web会議、臨時委員会を含む)

2)支部:

東北・北海道支部	支部若手研究助成選考委員会1回、支部学生表彰選考委員会1回(いずれも書面審査)
関東支部	若手の会幹事会2回(web会議)
中部支部	若手の会役員会(ミーティング)2回(うち1回はweb会議)、中部支部奨励賞選考委員会2回
関西支部	若手の会幹事会5回(うち3回はweb会議)
九州支部	第74回年次大会実行委員会7回(web会議) 支部賞選考委員会2回(メール審議)

3)部会:

家政学原論部会	編集委員会5回、選挙管理委員会2回(web会議)
家族関係学部会	編集委員会4回(メール会議)、セミナー実行委員会4回(うち3回メール会議)
児童学部会	会誌編集委員会等につき随時メール及びweb会議
食品組織部会	大会企画実行委員会1回、出版企画委員会4回

食文化研究部会	会誌編集委員会8回、奨励賞選考委員会3回(web会議)、「コロナ禍における食生活」企画委員会9回(web会議)、文献目録検討委員会13回(web会議)
被服材料学部会	夏季セミナー実行委員会他5回(メール審議)
被服整理学部会	部会企画5回(web会議2回、メール会議3回)および夏季セミナー実行委員会13回(web会議4回、メール審議8回、対面1回)
被服構成学部会	セミナー実行委員会他随時メール審議
被服衛生学部会	セミナー実行委員会7回(メール審議他)、企画委員会3回(メール審議)
被服心理学部会	セミナー実行委員会他随時メール及びweb会議
色彩・意匠学部会	セミナー実行委員会他随時メール審議
服飾史・服飾美学部会	企画委員会他3回(会議)
住居学部会	家政学原論部会下記セミナーへの協力、部会内での有志による住教育研究会記載(5回開催)
家政教育部会	セミナー実行委員会他3回(メール審議)

9. 会員

会員の状況(2023年3月31日現在)

		正会員 (永年会員)		学生会員	海外会員	賛助会員	計	前年度との増減
支 部	東北・北海道	157	(15)	4	-	-	161	▲10
	関東	912	(41)	71	-	-	983	7
	中部	212	(6)	8	-	-	220	0
	関西	373	(16)	18	-	-	391	▲19
	中国・四国	205	(10)	27	-	-	232	▲2
	九州	151	(6)	8	-	-	159	▲4
名誉会員		12	-	-	-	-	12	▲1
海外会員		-	-	-	9	-	9	3
賛助会員		-	-	-	-	31	31	▲2
会員種別合計		2,022	(95)	136	9	31	2,198	▲28
前年度との増減		▲34	0	5	3	▲2	▲28	

▲減少

10. 附属明細書に関する事項

2022年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。